

第 639 回 新潟放送番組審議会 議事録

— 議題 —

「フリートーキング」

1月～6月放送のラジオ・テレビ番組（自社制作番組・TBS等ネット番組）
及び放送全般についての意見交換



平成 30 年 7 月 24 日

BSN新潟放送

第639回新潟放送番組審議会

1. 開催日時 平成30年7月24日（火）午前11：00～

2. 開催場所 新潟市中央区 新潟放送 6F

3. 委員の出席

○委員側出席者（敬称略・順不同）

| | |
|------------|-----------|
| 委員長 古賀 豊 | 委 員 小島 良子 |
| 委 員 服部 誠司 | 委 員 渡邊 信子 |
| 委 員 石坂 智恵美 | |

○委員側欠席者（敬称略・順不同）

| | |
|-----------|-----------|
| 副委員長 佐藤 元 | 委 員 高木 言芳 |
| 委 員 小原 清文 | 委 員 細田 康 |
| 委 員 池田 幸博 | |

※ 審議事項リポート提出

○放送事業者側出席者

| | |
|-------------|--------------|
| 社長 佐藤 隆夫 | 常務 島田 好久 |
| 放送本部長 小原 弘志 | 営業本部長 金田 博幸 |
| 編成局長 増山 由美子 | 情報センター長 丹羽 崇 |

事務局 阿部 基行（編成局テレビ編成部長）

4. 議題

1 報告事項 8月・9月の単発番組について（各局長）

2 審議事項 1月～6月に放送したラジオ・テレビ番組（自社制作番組・TBS等ネット番組）及び放送全般についての意見交換

5. 議事の概要

佐藤社長の挨拶、各局長からの2018年8月度、9月度の番組報告等に続いて、この半年間（1月～6月）に放送された番組等についてフリートークで審議が行われた。

～番組審議委員の主な意見・質問～

- JNN及びTBS全般については、「良心的」に番組を制作していて、視聴者に対し「優しく」あろうとする様子が伺え、その点については「安心して見ていられる」放送局であると感じる。
番組に魅力がなくなってきたと感じる部分もある。頑張ると炎上するなどして、スタッフが受け身になっていないか心配。
- TBSはまだ良いが、ニュースがショーアップされているようになっている。
TBSのインターネットでのニュース配信を聞きながら仕事をする事があるので、助かっている。
メディアを巡る環境に変化が出ている。テレビやラジオが未来に向けてどのように変化するのか気になっている。
- JNN及びTBS全般については、ニュースやバラエティーなど安心感・安定感のある編成だと感じている。
テレビとインターネットの融合が不回避であるにしても、地元・地域の声を聞く民放ローカル局が重要だと思っている。地方を活かして多様性を維持していく、地方の想いを乗せていく電波は重要であると思う。様々な角度から議論すべき課題だと考えている。
- TBSは、どの世代でも視聴できる番組を作っていると思う。家族で笑える番組を増やして欲しい。不幸をテーマにするのではなく、幸福を共有できる番組。
「なじラテ。」は、若いアナウンサーが頑張っていて元気をもらうことが出来る。新潟の知らない情報をどんどん出して、楽しい番組作りをして欲しい。
オウムの松本智津夫死刑囚のニュースを朝から長時間にわたり放送していて不快になった。このニュースを見て、子どもたちがどのように感じるか不安になった。
- 西日本豪雨災害の特別番組や報道の量が少ないとも言われている。今までにない災害で、被害も広範囲に広がり避難・予防を呼びかけにくい災害で難しい部分もあるが、新潟でも同様の災害が起きた場合は、どのように対応するのか？

～新潟放送からの回答～

広島の放送局など被災地では、災害情報・避難情報などを随時放送して呼びかけていました。新潟で起きた場合は、テレビとラジオで災害情報・避難情報など随時迅速かつ的確に伝えています。これに加えて、テレビのL字画面で気象情報や交通機関などの情報と共に避難情報を今後も早く放送致します。